

式辞

時は春、桜花爛漫の時節となりました。春は希望の季節です。生きるものすべてが精気にあふれています。この輝くような春の日に 鳥取県教育長 山本仁志 様 北栄町長 松本昭夫 様 をはじめ、多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、鳥取県立鳥取中央育英高等学校の入学式を挙行できますことは、関係者一同、この上もない喜びとするところでございます。本校を代表して心から御礼申し上げます。

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。みなさんの入学を心から歓迎します。また、ご列席の保護者の皆様、お子様のご入学、真におめでとうございます。本日のお子様の晴れ姿をご覧になり、喜びも一入であろうかと拝察いたします。私ども教職員一同は保護者の皆様の切なる想いを受け止め、3年間の教育に全力を捧げる覚悟をしております。

さて、新入生のみなさん並びに保護者の皆様へ、この機会に本校の歴史についてお話ししたいと思います。

本校は明治39年12月1日、私立「育英黌」として設立されました。「育英黌」創設に至るまでの創立者豊田太蔵の壮絶な闘いは鳥取県教育誌にも記されており、本校創設の成果は高く評価されているところであります。

豊田太蔵は安政3年、ペリー来航の3年後に生まれており、幕末・明治維新の風を受けて、我が為すべきことは何かということを真剣に考えた人でした。

豊田太蔵は若くして八橋郡由良村の村長を務め、県議会議員も務めましたが、やがて自ら為すべきことは教育であると自覚し、山陰地方唯一の私立中学設立を目指して人生のすべてをかけることになるのです。

太蔵は全財産を投げうち、中学校建設に取り組みます。支援者も多かったが反対する勢力もあり、中学校設立は並大抵のことではありませんでした。

太蔵は地元にあつては寄付を募り、支援者を増やし、県議会や行政機関と交渉し、東京に何度も足を運び時の文部大臣とも直談判したのです。その結果、ようやく鳥取県私立育英中学校の認可に至ったのは大正3年のことでした。中学校設立の計画を立ててから実に27年の歳月を要し、太蔵は既に59歳となっていました。

豊田太蔵は生徒に繰り返し訓示しました。「克己」の心をもって努力せよと。今日は、普段豊田記念会館の資料室に保管してある「克己」の扁額を持ってきました。これは、創立者 豊田太蔵 の直筆によるものです。2回拝読します。

克己「他に勝たんと欲する者は、須らく先ず克己の勇気を興起すべし、己に克つことを得ざる薄志弱行の徒は、安んぞ能く他に勝つことを得んや、苟も本校に就学するものは緊樞一番、常にこの気を鼓舞振作するを要す。」晩登。「晩登」は豊田太蔵の号です。

克己とは文字通り、己に克つという意味ですが、実はもっと深い意味があります。明治維新三傑の一人とも言われる西郷隆盛も「克己」という言葉を自らの人生訓とした人で、「西郷南州遺訓」という書物の中で「道は天地自然の道なるゆえ、講学の道は敬天愛人を目的とし、身を修するに克己を持って終始せよ。」と述べています。この意味は、人の生きる道は天地自然を敬い、人を愛することを目的とすべきである。つまり、世のため人のために生きなさい、ということです。そして、そのような生き方を全うするためには「克己」の精神が必要である、と言っているのです。まさに、西郷隆盛も豊田太蔵もそのように生き

た人でした。

本校に入学したみなさんは、西郷隆盛や豊田太蔵のように、人の役に立ち、社会に貢献する生き方を目指してください。そして、己の弱い心に負けることなく、勉学に励んでください。ともすると挫けそうになる自分自身を常に叱咤激励しながら、やる気を奮い起こすのです。それが育英の伝統である「克己」の精神なのです。

その後、本校は、太平洋戦争を経て昭和26年、鳥取県へ移管され鳥取県立由良育英高等学校となり、平成15年に現在の鳥取中央育英高等学校となりました。校名は幾度か変わりましたが、創立者豊田太蔵の建学の精神は、今も脈々と受け継がれているのです。

本校の卒業生は約3万人、その中には国務大臣を務められた西村尚治氏、名探偵コナンの作者、青山剛昌氏もいらっしゃいます。また、プロ野球で大活躍した小林茂投手をご存じの保護者の方も多いと思います。

次に、本校の特色ある教育についてお話しします。

本校は、今年度から「地域探究の時間」という取り組みを本格的に開始します。この取り組みは国が進めている「地方創生」の理念とも重なるもので、人口減少社会という全国共通の課題に挑戦する取り組みです。

本校の卒業生は全国各地で活躍しており、世界にその活動の場を広げている方もあります。新入生のみなさんも、ぜひ高い志を抱き、活躍のステージを求めて挑戦して欲しいと思います。しかし、将来どのようなステージへ向かおうとも、生まれ育ったふるさとを愛し、ふるさとに貢献する気持ちを持ち続けて欲しいのです。また、みなさんの中から、将来地域のリーダーとしてふるさとで活躍する人材が数多く育ってほしいと願っています。これは、本校創立者の建学の理念と合致するものでもあります。

これまで知らなかった、或いは関心を持たなかった地域のことについて、その魅力や課題を探究し、ふるさとの美しさ、豊かさ、温かさを感じ、また、地域発展のために真剣に努力している人々の姿に触れ、自分にもふるさとのために何か出来ることがあるのではないだろうかと気づいてほしいのです。そして、県内外の高校生と地域創造について議論し、その意見を全国へ発信するのです。12月には「地域創造ハイスクールサミット」を開催する予定です。この「地域探求の時間」の取り組みを通して、生徒のみなさんが人間としても成長することを期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様をお願い申し上げます。保護者の皆様の願いと学校の願いは同じです。私は保護者の皆様と共に、お子様の成長のために互いに協力し合えるよい関係を築いていきたいと考えています。ぜひ、PTA活動にも積極的に参加していただき、様々な課題を乗り越え、教育の成果を共に喜びあえるよう願っています。

新入生のみなさんの洋々たる未来を祝福し、鳥取中央育英高等学校の充実発展を誓い式辞といたします。

平成二十七年四月七日
鳥取中央育英高等学校
校長 横山尚登